

第36回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー開催



岐阜県から参加したみどりの少年団

東海三県のみどりの少年団が一堂に集い、自然の中で緑の大切さを学び、交流を深めることを目的とした「みどりの少年団サマージャンボリー」（国土緑化推進機構、三菱UFJ環境財団及び愛知県・三重県・岐阜県の各緑化推進委員会主催）を、8月3日（水）から8月5日（金）まで2泊3日の日程で、岐阜市少年自然の家において開催しました。

愛知、三重、岐阜の14団91名のみどりの少年団に、今年は、「国際森林年」の子ども大使として活躍している東京の子どもミュージカル劇団「葉っぱのフレディ」の21名が特別に加わり、112名という大勢の参加となりました。

森林環境学習では、森林が美しい川を育み、海を豊かにするメカニズムを学び、自然体験活動では武儀川の水生動物の採取を行いました。子供たちは透き通った川の美しさと、水生動物の



水生動物を採取する子供たち

の数と種類の多さに驚きながら夢中になって採取をしていました。また、川と親しむ活動では大声を張り上げながらゴムボートによる川下りを楽しみました。



ゴムボートでの川下り

そのほか野外炊飯、キャンプファイヤー、野草のしおり作り、ミュージカルソング鑑賞などの盛りだくさんの活動をこなしました。



野外炊飯（カレーライス作り）



楽しいキャンプファイヤー



野草のしおり作り

特に「葉っぱのフレディ」のみなさんによるミュージカルソングの鑑賞では、洗練された歌と踊りに、みどりの少年団の子どもたちは大きな感動と刺激を受けたようでした。岐阜県からは、海津



葉っぱのフレディのミュージカル鑑賞

市みどりの少年団、旭小学校みどりの少年団、多良峡もみじ少年団、金華みどりの少年団が参加し、共同生活、集団活動を通じて活発に交流を深め、楽しい思い出をいっぱい持って帰宅しました。